

頁	年月日	内容など	発行者/作成者	宛先	備考
1		表紙「昭和拾六年以降 雑書綴 関」	[関コト]		
2		規約貯金払戻願書式		経理室	
3	昭和16年8月14日	『科学画報』禁剤植物マリアナ害毒論文著者への問合せ	登戸出張所	■■■■	マリファナか
4	昭和16年11月14日	見学礼状	登戸出張所 陸軍兵技中尉 高倉金次、陸軍兵技伍長 ■■■■		
5	昭和16年11月10日	生徒推薦の件	陸軍技術本部登戸出張所	杉並農産工芸学校長	
6	昭和16年11月6日	入職手続の件	陸軍技術本部登戸出張所	杉並農産工芸学校長	
7	昭和16年9月1日	イヌサフラン種子分譲依頼		■■■■	
8	昭和16年8月30日	「官用品通関証明書」関東軍司令部嘱託携行器材	陸軍技術本部長	税関長	
9	昭和16年12月9日	「証明書」公務出張	陸軍技術本部登戸出張所	帝国在郷軍人会本郷支部長	
10	昭和16年12月7日	「見積書」牛肉上	高津配給所	登戸出張所	
11	昭和16年12月7日	「請求書」牛肉	高津配給所	登戸出張所	
12	昭和16年12月8日	「官用品通関証明書」満州第八十六部隊送付	陸軍技術本部	税関長	
13	昭和16年11月21日	「乗船請求書」特殊器材宰領並びに指導のため、門司→基隆	陸軍技術本部長	陸軍運輸部長	陸軍兵技大尉 伴繁雄ほか
14	昭和16年12月11日	「請求書」コロチカム	武蔵野園芸商会	登戸出張所	
15	昭和16年12月23日	ヨタウガに関する調査送付礼状	登戸出張所	樺太庁中央試験所	
16		見学礼状及び小型フィルム性質検査、高感度赤外フィルム試作依頼	陸軍技術本部登戸出張所 陸軍技手 ■■■■	富士写真フィルム研究所長 ■■■■	
17		「受領書」拳銃	長崎県相浦警察署	陸軍技術本部登戸出張所	
18	昭和17年2月18日	「証明書」仏領インドシナ、タイ出張中兵站給与未支給の件	陸軍技術本部登戸出張所長 篠田鏢		
19	昭和17年2月26日	見学礼状	登戸出張所 陸軍兵技中佐 渡邊扶生、陸軍兵技少尉 吉崎満郎	屋井乾電池株式会社	
20		「防空壕施設出場時人員割第二科」			
21	昭和16年12月11日	「見積書」コロチカム	武蔵野園芸商会	登戸出張所	
22、23		「雑誌会々則案」			
24	昭和17年4月21日	「昭和十七年度作業衣(袴)需要量回答」	第二科		
25	昭和17年4月21日	「御見積書」中古自転車	川崎市稲田登戸 ■■■■		
26	[年不明] 3月21日	「命令」日直勤務	第二科長		
27、28		「川崎市総合防空訓練実施要領」			
29	昭和18年3月12日	小豆種苗配布依頼への回答	北海道農業試験場	陸軍登戸研究所	
30	昭和18年3月11日	「受験許可証」八王子工業学校	陸軍登戸研究所		
31	昭和18年2月12日	「入校許可証」桐生高等工業学校	陸軍登戸研究所		
32	昭和18年2月12日	「入校許可証」農産化学工業学校	陸軍登戸研究所	佐久間敏雄	
33		現金出納簿表紙			
34	[年不明] 3月16日	「命令」庶務掛将校代理任命	第二科長	陸軍兵技大尉 丸山政雄	

頁	年月日	内容など	発行者/作成者	宛先	備考
35	昭和18年3月12日	「油類消費実績調書提出の件」	第二科	各班長	
36	[年不明] 3月12日	助手手当、研究内容ほか打合せ依頼	陸軍兵器行政本部 登戸研究所内 村上大尉	■■■■■	
37、 38	昭和18年3月12日	「受領証書」ホロ号野外試験出張経費前渡金		登戸研究所資金前渡官吏陸軍主計中尉 川井佐久治所属 陸軍兵技中尉 高倉金次	
39	昭和18年3月8日	「受入証」ホロ号野外試験出張経費前渡金		登戸研究所資金前渡官吏陸軍主計中尉 川井佐久治所属 陸軍兵技中尉 高倉金次	
40	昭和18年3月2日	「氷受領内訳書」	陸軍准尉 ■■■■ ■		
41～ 43	昭和18年 [月日空欄]	礼状書式	陸軍登戸研究所 ■■■技師		
44	昭和17年10月27日	「氷受領内訳書」	陸軍兵技軍曹 ■■■■		
45～ 49		「官庁関係外出調書 第二科」			手書き
50、 51		「会社関係外出調書 第二科」			手書き
52		「通学者調 第二科」			
54		「軍事下技術」送附氏名表 第二科」			
55		「明細書の打ち方」	[関コト]		手書き
56	昭和16年10月8日	「肉〔、玉子、胃袋〕受領内訳書」	陸軍技手 ■■■■ ■	丸山中尉	
57、 58		「戸棚仕様書」			手書き
59		「通学者調 第二科」			
60	昭和17年3月2日	分譲に関する礼状	登戸出張所 陸軍兵技少尉 吉崎満郎	屋井乾電池株式会社	
61	昭和16年12月17日	「証明書」陸軍兵技大尉 伴繁雄	陸軍技術本部登戸出張所長 篠田鏝		仏領インドシナ並びに台湾へ出張中、台北→玉里→台北→高雄へ旅行
62	昭和17年3月17日	試験協力の礼状	陸軍技術本部登戸出張所長 篠田鏝	国際電気通信株式会社 名古屋中継所長 ■■■■	
63	昭和16年12月17日	「証明書」雇員 ■■■■	陸軍技術本部登戸出張所長 篠田鏝		仏領インドシナ並びに台湾へ出張中、台北→玉里→台北→高雄へ旅行
64	[年不明] 3月25日	「コルヒチン」分譲依頼	登戸出張所	三共製薬株式会社 農薬部	
65	昭和17年3月26日	「化兵〔化学兵器〕手当支給相成度件上申」	第二科長		作業の種類、現在日給額、手当支給区分、身分、氏名
66、 67		私信	こと子	健二	
68～ 92	昭和17年12月	「鋼材引受寸法一覧表」			
93		「通学者調 第二科」			
94	昭和17年4月6日	北大理学部化学教室へ出張に関する礼状	陸軍技術本部登戸出張所	北海道帝国大学理学部化学教室	
95	[年不明] 3月28日	来所の相談(ご子息の件)	陸軍兵技中尉 中内正夫	■■■■■	

頁	年月日	内容など	発行者/作成者	宛先	備考
96	昭和17年〔月日空欄〕	種子分譲礼状書式	陸軍登戸出張所		
97	昭和17年4月13日	一七奥第三六号分譲依頼に関する礼状	陸軍技術本部登戸出張所	農事試験場奥羽試験地	
98～100		「ゴム印仕様書 第二科」			手書き
101～106	昭和17年2月13日	「詰切及居残服務者等に食料支給方の件達」	陸軍大臣 東条英機	関係陸軍部隊	
107	昭和17年4月14日	出張及び資料提供の礼状	陸軍登戸出張所 陸軍技師 ■■■■		
108	昭和17年4月15日	「受領証」煙草種子	陸軍登戸出張所	東京地方専売局秦野出張所	
109		白紙			
110、111		工場見学報告 (生物と香料の関係)			途中の2頁のみ／裏写りにより不鮮明／ 1) 香料の蠅に対する有毒性 2) 動物と香料との関係
112～121	昭和19年4月15日	「火薬爆薬類製造工場見学報告」	登戸研究所第二科調製		裏写りにより不鮮明
122～139	昭和19年4月8日	「燐寸工場見学報告」	登戸研究所第二科調製		裏写りにより不鮮明
140～149	昭和19年3月30日	「海水脱塩材調査報告」	登戸研究所第二科調製		裏写りにより不鮮明
150～172	昭和19年3月10日	「携帯口糧並に防虫剤に関する会社、工場調査報告」	登戸研究所第二科調製		裏写りにより不鮮明／150頁と151頁が入替わっている
173～190	昭和19年3月11日	「河豚毒の化学的研究」	登戸研究所第二科調製		裏写りにより不鮮明
191～207	昭和19年3月10日	「工場見学報告」合成研究	登戸研究所第二科調製		裏写りにより不鮮明
208～213	昭和19年3月9日	「軍犬研究試験見学報告」	登戸研究所第二科調製		裏写りにより不鮮明
214～223		「低照度視力増強移管する研究 (メラノホーレンホルモン)」			622頁に表紙／裏写りにより不鮮明
224		白紙			
225、226		「第二科暖炉配置図 (其の一)」			
227		「前金払受表」書式			
228	〔年不明〕4月1日	調査依頼	第二科庶務	各班長	
229～231		「活字仕様書」			
232	昭和18年3月10日	「現認証明書」火傷 (庶務科警備員)			
234、235	昭和18年4月5日	年度試作計画提出依頼	第二科	各班長	
236	昭和18年4月2日	油類消費実績調書提出依頼	第二科	各班長	
237、238	昭和18年4月7日	雨傘蛇毒分譲依頼	陸軍兵器行政本部 登戸研究所 陸軍兵技大尉 村上忠雄	熱帯医学研究所支林支所 ■■■■	2部
239	昭和18年4月20日	見学願	登戸研究所 第二科長 陸軍大佐 畑尾正央	大日本映画株式会社	見学人員120名
240		「防火用砂及同収納袋所有数量調査表 第二科」			
241	〔年不明〕3月29日	「有勲者調査の件」	第二科庶務	班長	
242		白紙			
243、244		「昭和十八年度白金需要額調査表 第二科」			

頁	年月日	内容など	発行者/作成者	宛先	備考
245		「危険作業従事現況調」			毒性化合物の研究に従事する工員への加給率
246		「通学者調 第二科」			
247	〔年不明〕3月25日	「会報」出入門変更について			
248、 249	〔年不明〕12月分	「官庁関係外出調書 第二科」			手書き
250、 251		「会社関係外出調書 第二科」			手書き
252		「其他外出調書 第二科」			手書き
253		「私用外出調書 第二科」			手書き
254、 255		「査定証」中古自転車	査定人 2名	川崎市稲田登戸 ■■■■	
256	昭和17年5月13日	「証明書」公務出張	陸軍登戸出張所		
257	昭和17年5月18日	研究資料蒐集礼状	陸軍登戸出張所		
258	昭和17年5月18日	文献資料複写依頼	陸軍登戸出張所陸軍兵技中尉 高倉金次	東京帝国大学教授 ■■■■	
259	昭和17年5月19日	「氷受領内訳書」	陸軍技手 ■■■■		
260		研究資料蒐集礼状	陸軍登戸出張所 ■■■■■■	福井県庁農産課 ■■技手	
261	昭和17年5月19日	拳銃代金未支払分の支払いについて	陸軍登戸出張所	埼玉県警察部保安課	
262	昭和17年5月20日	配給証明依頼	陸軍登戸出張所	農林省油脂課 ■ ■技師	
263	昭和17年5月25日	拳銃代金照会の件		山口県警察部長	
264、 265	昭和17年5月26日	文献資料複写、料金立替ほか依頼	陸軍登戸出張所陸軍兵技中尉 高倉金次	東京帝国大学教授 ■■■■	
266	昭和17年5月20日	複写文献追加依頼	陸軍登戸出張所陸軍兵技中尉 高倉金次	東京帝国大学教授 ■■■■	
267	昭和17年6月1日	「証明書」注文品(鉄製缶)運搬	陸軍登戸出張所		
268	昭和17年4月24日	研究資料収集に関する礼状	陸軍登戸出張所	豊田村国民学校	
269	昭和17年4月24日	煙草種子分譲に関する礼状	陸軍登戸出張所	朝鮮龍岡棉作支場	
270	昭和17年4月24日	出張時の礼と資料収集の手配に対する礼状	陸軍登戸出張所	静岡県立農事試験場	
271	昭和17年4月24日	出張時の礼と資料収集の手配に対する礼状	陸軍登戸出張所	秋田県農事試験場 ■■■■	
272	昭和17年4月24日	煙草種子分譲に関する礼状	陸軍登戸出張所	朝鮮総督府農事試験所木浦棉作支場	
273	昭和17年4月22日	出張時の礼と資料収集の手配に対する礼状	陸軍登戸出張所		
274	昭和17年4月23日	出張時の礼と資料収集の手配に対する礼状	登戸出張所	福井県立農事試験場	
275	昭和17年4月23日	資料収集に関する礼状	陸軍登戸出張所 ■■■	帯江村農会	
276	昭和17年4月23日	資料収集に関する礼状と支払いについて	陸軍登戸出張所 ■■■	広島県立農事試験場 ■■■■	
277、 278		「活字仕様書 第二科」			
279		タイプ練習	〔関コト〕		
280		タイプ練習	〔関コト〕		
281	昭和17年6月5日	「携行証明書」写真機(ライカ)	陸軍技術本部登戸出張所		
282	昭和17年6月5日	「証明書」写真機(ライカ)	陸軍技術本部登戸出張所		
283		「活字仕様書」			
284	昭和17年6月20日	「官用品通関証明書」関東軍司令部囑託携行品	陸軍技術本部長 ■■■■■■	税関長	赤外線フィルム、電流計、畜電器

頁	年月日	内容など	発行者/作成者	宛先	備考
285	昭和17年6月10日	研究用牛肉、鶏卵配給券交付申請	陸軍登戸出張所	川崎市長	
286、 287	昭和17年6月1日	「雨覆(豚舎)仕様書」	陸軍登戸出張所		健康豚、検定豚、疫豚の区別
288、 289	昭和17年6月22日	「氷受領内訳書」	陸軍技手 ■■■■ ■		
290	昭和17年6月25日	防空施設点検警察官随行的のため、雇員の休務申請	陸軍登戸出張所庶務将校 陸軍兵技中尉 大月陸雄		
291	昭和17年6月25日	施設見学への礼状	陸軍登戸出張所陸軍兵技中尉 高倉金次	東京機器製作所所長 ■■■■	
292～ 295		会社名・商店名〔取引先か〕			担当所員名併記
296	昭和17年6月29日	麦稗〔ひえ〕分譲に対する礼状	陸軍登戸出張所陸軍技師 ■■■■		稗〔ひえ〕は稗〔わら〕のタイプミスか
297、 298	昭和17年6月29日	出張の便宜、試験用材材料整備に関する礼状	陸軍登戸出張所		
299	昭和17年6月29日	麦稗〔わら〕分譲に対する礼状	陸軍登戸出張所陸軍技師 ■■■■		
300	昭和17年5月20日	「活字仕様書」			
301、 302	昭和17年7月28日	「氷受領内訳書」	陸軍技手 ■■■■ ■		
303	昭和17年8月3日	「証明書」勤務証明	日本光測機製作所取締役社長		
304、 305	昭和17年7月31日	講話依頼	陸軍兵技中佐 渡邊扶生	鶴見総持寺後堂 ■■■■	
306	昭和17年8月24日	文献複写礼状とボイラー設計指導依頼	陸軍登戸出張所高倉中尉	■■教授	
307、 308	昭和17年8月25日	「氷受領内訳書」	陸軍兵技軍曹 ■■■■ ■■■		
309	昭和17年8月19日	研究所構内の軌道敷設工事依頼	陸軍技術本部登戸出張所第二科長 陸軍兵技中佐渡邊扶生	東京急行電鉄株式会社新宿営業局長	
310	昭和17年〔月日空欄〕	「請求書」ニカメイ虫越冬幼虫喰入藁〔わら〕	富山県立農事試験場病理昆虫部代表 ■■■■	陸軍登戸出張所	
311	〔年不明〕9月1日	請求書送付について		富山県立農事試験場病理昆虫部代表 ■■■■	
312	昭和17年〔月日空欄〕	「請求書」ニカメイ虫越冬幼虫喰入藁〔わら〕	富山県立農事試験場病理昆虫部代表 ■■■■	陸軍登戸出張所	
313	昭和17年〔月日空欄〕	「請求書」麦稗〔わら〕	陸軍登戸出張所	都窪郡農会技師 ■■■■	
314	昭和17年9月3日	研究資料『木箱』発送料受領書再発行依頼		日本通運株式会社笹島支店	
315	〔年不明〕9月14日	「会報」回覧書類(秘密書類等冊綴)の回覧注意事項	第二科庶務		
316	昭和17年9月17日	玉蜀黍physoderma菌被害株分譲依頼	陸軍技術本部登戸出張所 ■■技師	阿蘇試験地主任	318頁と同
317	昭和17年9月17日	ニカメイ虫研究協力への礼状	陸軍技術本部登戸出張所 陸軍技師 ■■■■	農事試験場	
318	昭和17年9月17日	玉蜀黍physoderma菌被害株分譲依頼	陸軍技術本部登戸出張所 陸軍技師 ■■■■	阿蘇試験地主任	316頁と同
319	〔年不明〕9月10日	入職身体検査の出張依頼	陸軍技術本部登戸出張所内 陸軍兵技中佐 渡邊扶生	■■■■■	
320、 321	昭和17年9月19日	雨傘蛇毒分譲への礼と採集都度の分譲依頼	陸軍登戸出張所	熱帯医学研究所支林支所 ■■■■	

頁	年月日	内容など	発行者/作成者	宛先	備考
322、 323	昭和17年9月22日	雨傘蛇毒分譲への礼と採集都度の分譲依頼	陸軍登戸出張所 陸軍兵技大尉 村上忠雄	熱帯医学研究所支林支所 ■■■■	
324	昭和17年〔月日空欄〕	「請求書」アマガサヘビ毒及び人件費	熱帯医学研究所支林支所 ■■■■	陸軍登戸出張所	
325	昭和17年〔月日空欄〕	「見積書」書式	熱帯医学研究所支林支所 ■■■■	陸軍登戸出張所	
326、 327	昭和17年9月23日	住宅貸与の特別配慮照会	陸軍登戸出張所庶務科長 陸軍大佐 草場秀喜	住宅営団東京支所 ■■■■	
328、 329	昭和17年9月26日	「氷受領内訳書」	陸軍兵技軍曹 ■■■■		
330	昭和17年9月26日	「ハンデックス」分光写真機修理状況照会	陸軍技術本部登戸出張所 陸軍兵技少尉 吉崎満郎	白井松機械舗	
331		「鍵箱仕様書 第二科」			手書き
332	昭和17年10月1日	資料分譲に対する礼状	陸軍技術本部登戸出張所 ■■■■	熊本県立農事試験場 寒冷地試験地	
333		機秘密書類其他重要書類格納箱調書提出依頼			
334、 335	昭和17年10月6日	小麦種子分譲に対する礼状	陸軍登戸出張所陸軍技手 ■■■■	農林省農事試験場 鴻巣試験地 ■■	
336		「見積書」	大分県南大分 大分県立農事試験場 代表者 ■■■■	陸軍登戸研究所	
337	昭和17年10月28日	「官用品通関証明書」関東軍司令部送付	陸軍登戸研究所	横浜税関新宿駅出張所	特殊兵器(コルク栓、試薬瓶) / 340頁と品目、員数同じ
338、 339		「通勤所要時間調書 第二科」			
340		「荷造明細書」特殊兵器			337頁と品目、員数同じ
341~ 344		「登戸出張所教育規程」			頁順343、344、341、342
345	昭和17年10月28日	「送付証」満州国治安部委託調達品及び依頼品	陸軍登戸研究所		コルク栓、試薬瓶
346	昭和17年〔月日空欄〕	礼状書式	陸軍登戸研究所		
347	昭和17年4月1日	出張時の便宜と資料依頼の礼状	陸軍登戸出張所陸軍技師 ■■■■		
348	〔年不明〕10月29日	小麦種子分譲に対する礼状		京都府立農事試験場 場長	
349	昭和17年10月21日	「請求書」麦種子代	京都府立農事試験場 場長	陸軍技術本部登戸出張所	
350	昭和17年11月4日	製作上順序報告	登戸研究所囑託 ■■■■	関東軍司令部 「に」 ■■■■	
351	昭和17年〔月日空欄〕	「請求書」小麦稈〔わら〕	岡山県浅口郡吟島村浅口郡農会 ■■■■	陸軍登戸研究所	
352、 353	昭和17年〔月日空欄〕	「危険薬品最大収容量(単位珎〔キログラム])」	危険薬品取扱主任 陸軍兵技中尉 中内正夫		文書反転
354	昭和17年11月10日	小麦種子分譲の礼状	陸軍登戸研究所	岡山県立農事試験場	
355		「銃立仕様書」			手書き
356	昭和17年11月13日	写真用ゼラチンサンプル分譲依頼	陸軍登戸研究所第二科長 陸軍大佐 畑尾正央	日本皮革株式会社 富士工場	
357	昭和17年11月13日	「見積書」麦(種子)伊賀筑後二号	京都府立農事試験場 場長	陸軍登戸研究所	
358	昭和17年11月17日	「見積書」コルヒカム	武蔵野農園	陸軍登戸研究所	

頁	年月日	内容など	発行者/作成者	宛先	備考
359	昭和17年11月18日	イヌサフラン分譲の礼状	陸軍登戸研究所第二科庶務	武蔵野農園	
360～380		研究委(嘱)託費書類様式、各種規程、取扱要領ほか			
381～385		「不就業日支給金額表」			
386	昭和17年12月1日	「氷受領内訳書」	陸軍兵技軍曹 ■■■		
387	昭和17年12月5日	「見積書」コルヒカム	武蔵野農園	陸軍登戸研究所	
388		「活字仕様書」			
389	昭和17年12月10日	「証明書」勤務証明	陸軍登戸研究所	品川区役所	
390	昭和17年12月10日	「証明書」特別訓練	私立多摩青年学校 学校長 陸軍大佐 草場季喜		
391～402	昭和17年12月4日	「昭和十八年度供給計画表提出の件」、別紙一、別表一	第二科	各研究主任者	
403		ニカメイ虫幼虫購入書類(部分)			
404		備考			394～402頁(別表一昭和十七年度本部調弁品目表)備考
405	昭和17年12月15日	「官用品通関証明書」満州国ハルビン満州第二四七部隊送付	陸軍登戸研究所長 篠田 鏢	税関長	充電器、真空管、タンカーバルブ、通信機部品
406	昭和17年12月14日	資料(麦)分譲照会	陸軍登戸研究所	農林省農政局長	裏写りにより不鮮明
407、408	昭和18年1月7日	雨傘蛇毒送付に対する礼、採取次第の送付依頼と年間必要量	陸軍兵器行政本部 登戸研究所 村上 忠雄	熱帯医学研究所土 林支所 ■■■■	
409	昭和17年12月29日	「見積書」稲藁	神奈川県愛甲郡厚 木町農会	陸軍登戸研究所	
410	昭和17年12月29日	「見積書」稲藁	神奈川県愛甲郡厚 木町農会	陸軍登戸研究所	
411、412		型録贈与依頼書式	陸軍登戸研究所第 二科 高倉中尉		2部
413	昭和18年1月12日	試験のため甲府、名古屋間連絡用通信回線一回線借用依頼	陸軍登戸研究所長 篠田 鏢	国際電気通信株式 会社名古屋統制中 継所長	
414	昭和18年1月14日	「兵技将校補備教育に関し不参者の件届」	登戸研究所	兵器行政本部兵技 将校教育係	
415		型録贈与依頼書式	陸軍登戸研究所第 二科 高倉中尉		411、412頁と同じ
416	昭和18年1月12日	未到着軍用品(木箱)調査依頼	陸軍登戸研究所陸 軍技手 ■■■■	日本通運株式会社	発送部隊:岡第一六〇一部隊参謀部、陸軍技術本部登戸研究所分室受領
417	昭和18年1月15日	小荷物(薬品)発送の件通知	陸軍登戸研究所 陸軍兵技大尉 村 上忠雄	京都帝国大学医学 部 ■■■■	
418	昭和18年1月14日	「請求書」サンカメイ虫	和歌山県立農事 試験場三化螟虫試 験地	陸軍登戸研究所	
419	昭和18年1月16日	耐低温不凍油分譲依頼	陸軍登戸研究所 第二科長 畑尾正 央	第八研究所 第三 科長 山田櫻	
420～423		履歴書調整上の注意と記載例			
424	[年不明] 1月25日	送付別紙割当願書中数量の誤差について		国産精密器株式会 社 代表取締役 ■■■■	

頁	年月日	内容など	発行者/作成者	宛先	備考
425	昭和18年1月26日	従業員の技倆証及事務適住証送付依頼	陸軍登戸研究所庶務科長 陸軍大佐 草場秀喜	隊長 陸軍大尉 伊藤武親	
426	昭和18年〔月日空欄〕	書籍送付に対する礼状	陸軍登戸研究所陸軍技師 ■■■■		
427	昭和18年2月1日	「受領証」第二科律辰会運転資金	第二科長陸軍大佐 畑尾正央	庶務科長陸軍大佐 草場秀喜	
428	昭和18年2月1日	「受領証」第二科律辰会運転資金	第二科長陸軍大佐 草尾正央〔タイプミスか〕	庶務科長陸軍大佐 草場秀喜	
429	〔年不明〕2月1日	「命令」庶務係係将校代理ほか任免	第二科長		
430~432	昭和18年2月3日	「昭和十八年度呔〔かます〕、縄、筵〔むしろ〕需要額調査」、「別紙 昭和十八年度呔(縄、筵)需要額」	第二科	各班長	
433	昭和18年2月3日	拳銃貸与不許可、試作製品試射の件			
434		「命令」日直勤務	第二科長		
435、436	昭和18年2月5日	「入校許可証」東京物理学校	陸軍登戸研究所		2部
437、438	昭和18年2月5日	「請求書」防諜資材委託調弁費及び「内訳書」	陸軍登戸研究所 陸軍少将 篠田鏝	満州国治安部	電気心動曲線計、クロナキシー測定器
439	昭和18年2月5日	「受験許可証」岐阜薬学専門学校	陸軍登戸研究所		
440~442	昭和18年2月3日	「昭和十八年度呔〔かます〕、縄、筵〔むしろ〕需要額調査」、「別紙 昭和十八年度呔(縄、筵)需要額」	第二科	各班長	430~432頁に同じ
443	昭和18年2月6日	「規定外電燈使用認可証」	庶務科長陸軍大佐 草場秀喜		
444	昭和18年2月5日	「請求書」防諜資材委託調弁費	神奈川県川崎市生田陸軍登戸研究所 陸軍少将 篠田鏝	満州国治安部	437頁に同じ
445、446	昭和18年2月8日	「昭和十八年度圧縮酸素需要額調査の件」及び「調整要領」	第二科	各班長	頁逆順
447	昭和18年2月8日	薬剤報告の件	登戸研究所 陸軍兵技大尉 伴繁雄	陸軍省防衛課 曾田中佐	
448	昭和18年〔月日空欄〕	「請求書」ニカメイ虫	愛媛県立農事試験場 技師 ■■■■	陸軍登戸研究所	
449、450		「請求書」書式	■■■■	陸軍登戸研究所	
451	昭和18年2月15日	「受験許可証」	陸軍登戸研究所		
452		「通学者調 第二科」			
453	昭和18年2月15日	「時間外暖炉使用許可願」	第二科庶務係将校 陸軍兵技大尉 村上忠雄	庶務科長 陸軍大佐 草場季喜	
454	昭和18年2月16日	「出門許可証」	陸軍准尉 ■■■■		
455	昭和18年2月15日	「時間外暖炉使用許可願」(承認印押印)	第二科庶務係将校 陸軍兵技大尉 村上忠雄	庶務科長 陸軍大佐 草場季喜	
456	昭和18年2月20日	「受領証」資材効力調査成績	陸軍登戸研究所長 篠田鏝	中支那防疫給水部長 太田澄	
457	昭和18年2月23日	「前渡資金受領書」ホホ号 野外試験出張経費		登戸研究所資金前渡官吏陸軍主計中尉 川井佐久治所属 分任官 陸軍兵技大尉 伴繁雄	

頁	年月日	内容など	発行者/作成者	宛先	備考
458	昭和18年2月23日	「受験許可証」東京物理学校	陸軍登戸研究所		
459、 460		「昭和十八年度『月別』予算使用状況調書」書式			
461	昭和18年5月31日	「官用品通関証明書」トランク(大型)	登戸研究所長 篠田 鏢		
462～ 523		「昭和十八年上半期単価契約調書」			
524	[年不明] 6月4日	「科命令」週番判任官任命		陸軍技手 ■■■	
525	昭和16年6月4日	「氷受領内訳書」	陸軍兵技大尉 村上忠雄		
526		「予防接種者名簿 第二科」書式			手書き
527、 528	昭和18年5月31日	「経理会報」			
529	[年不明] 6月4日	「科命令」日直勤務			
530		白紙			
531、 532		「昭和十八年度薬品類所要額調書」書式			
533	[年不明] 5月11日	「科命令」週番判任官任命		陸軍技手 ■■■ ■	
534		「油類消費実績調書提出の件」書式	第二科	班長	
535	昭和18年6月10日	「出門認可証」	庶務将校陸軍兵技中尉 中本敏一郎	工員 ■■■■	理由: 病氣治療
536～ 540		「健康保護者取扱規定」			
541	[年不明] 6月18日	「科命令」週番判任官任命		雇員 ■■■	
542		「旅行経歴書」書式			
543	[年不明] 6月17日	「科命令」日直勤務			
544	昭和18年6月15日	「連絡」金属資源不足のため割当配当の連絡	調達担任官 陸軍主計中尉 川井佐久治	各科庶務掛将校	
545、 546		「昭和十八年度薬品類所要額調書」書式			手書き/531、532頁の原稿か
547、 548	昭和18年5月29日	「昭和十八年度硝子需要額提出に関する件通牒」	第二科庶務 (印市川)	主任者	インクかすれにより文字不鮮明
549～ 552		「昭和十八年度硝子需要額調書」書式			
553	昭和18年6月19日	工場見学の礼状	登戸研究所 陸軍兵技中尉 有川俊一	共立水産工業株式会社 大場工場	
554、 555		「重要物資使用差引簿」書式			
556		「昭和十九年度中等学校卒業生求人申込」書式			
557	昭和18年5月18日	「単価契約書類送付の件通牒」	登戸研究所大久保分室	第二科	
558		「会報 第二科」薬品類の要求について	第二科		
559	昭和18年6月21日	「昭和十八年度第二種充足軍需(油脂類)所要量調査に関する件」	第二科	[各] 班長	
560、 561	昭和18年6月23日	「証明書」賜金国庫債券売却に関する	登戸研究所長 篠田 鏢		
562	[年不明] 6月23日	「科命令」日直勤務命令			
563	[年不明] 6月23日	「科命令」人事命令(庶務掛将校助手ほか)			
564、 565	昭和18年6月24日	「研究資料(アマガサヘビ毒)分譲に関する件」	神奈川県川崎市生田陸軍登戸研究所内 陸軍兵技大尉 村上忠雄	熱帯医学研究所士林支所内 ■■■ ■	

頁	年月日	内容など	発行者/作成者	宛先	備考
566	[年不明] 6月25日	「科命令」週番判任官任命		陸軍技手 ■■■ ■■	
567～ 574		日直勤務規定			
575		駈付者の規定			
576、 577	昭和18年6月30日	「研究業務促進に関する意見」	第二科		
578	[年不明] 7月1日	「科命令」日直勤務			
579	[年不明] 7月3日	「科命令」週番判任官任命		陸軍技手 ■■■	
580	昭和18年7月3日	「氷受領内訳書」	陸軍兵技中尉 瀧脇重信		
581	[年不明] 7月14日	「科命令」第三火薬庫火元取締者任命		陸軍技手 ■■■ ■	
582	昭和18年7月15日	薬品送付に対する礼状	登戸研究所陸軍兵技中尉 有川俊一	武田化学薬品株式会社	
583		「外出報告書」書式			
584	[年不明] 7月16日	「科命令」日直勤務			
585	昭和18年7月1日	「証明書」傷病のホニ号研究(毒薬合成)起因の証明	研究班長 陸軍技師 ■■■	■■■■	
586	昭和18年7月24日	「前渡金受領証」ホニ号資材購入のための満州国出張		登戸研究所資金前渡官吏陸軍主計大尉 州河仲一所属分任官 陸軍兵技大尉 丸山政雄	
587、 588	昭和18年7月23日	「携行品証明書」	陸軍登戸研究所長 篠田 鏝	携行者 陸軍兵技大尉 丸山政雄	試験材料(写真関連用品各種)
589	[年不明] 7月23日	「科命令」日直勤務			
590	[年不明] 7月24日	「科命令」週番判任官任命		陸軍技手 ■■■ ■	
591	昭和18年7月26日	「受領証」白金	株式会社 横河電気製作所	登戸研究所	水素イオン系材料として
592	昭和18年7月26日	「氷受領内訳書」	陸軍兵技中尉 瀧脇重信		
593		「研究委(嘱)託費受領証」書式	研究委(嘱)託者	陸軍兵器行政本部技術部(第 陸軍技術研究所)	
594	昭和18年5月18日	「委託、嘱託研究費取扱要領の件通牒」	陸軍兵器行政本部総務部長 菅晴次		
595		「返納証」委(嘱)託研究費書式	研究委(嘱)託者	陸軍兵器行政本部技術部(第 陸軍技術研究所)	
596		「保管物品引継証」書式	研究委(嘱)託者	陸軍兵器行政本部技術部(第 陸軍技術研究所)	
597、 598	昭和18年4月1日	「委託(嘱託)研究費取扱要領」	陸軍兵器行政本部		
599、 600	昭和19年7月12日	「氷受領内訳書」	陸軍兵技中尉 瀧脇重信		
601～ 604	昭和19年8月5日	「氷受領内訳書」	陸軍兵技中尉 瀧脇重信		2部
605、 606	昭和19年9月16日	「氷受領内訳書」	陸軍兵技中尉 瀧脇重信		手書き
607		風船爆弾グラフ			
608	昭和19年4月13日	絵	[関コト]		
609、 610	昭和19年7月29日	「コルヒチン」原料植物手配依頼	登戸研究所 山田大佐	技術課 吉永中佐	
611、 612	昭和19年8月22日	理化学研究所員より紹介の就職希望者への回答	陸軍登戸研究所陸軍技術大佐 山田櫻	■■■	
613		「借用書」石川式攪拌播漬機[かくはん-らいかい-き]	朝鮮総督府家畜衛生試験所 登戸研究所嘱託 ■■■ ■■■	登戸研究所	借用期間:昭和19年8月1日～昭和20年3月31日

頁	年月日	内容など	発行者/作成者	宛先	備考
614		「借用書」 冷蔵庫	朝鮮総督府家畜衛生試験所 登戸研究所嘱託 ■■■■	登戸研究所	借用期間：昭和19年8月1日～昭和20年3月31日
615		「借用書」 米国製モーター	朝鮮総督府家畜衛生試験所 登戸研究所嘱託 ■■■■	登戸研究所	借用期間：昭和19年8月1日～昭和20年3月31日
616	昭和19年8月22日	化学防蚊剤研究の情報提供依頼	陸軍登戸研究所 山田大佐	長瀬誠中尉	
617～619		「技術関係職員調査表 第二科」			卒業学校名、学科、身分、氏名
620～621	昭和18年7月28日	「第二科庶務班業務分担表」			文字不鮮明／班長、担任者、担任業務
622		「低照度視力増強に関する研究(メラノホーレンホルモン)」	担当者 ■■■■、■■■■		214頁につづく
623	昭和18年8月13日	出張時の便益に対する礼状	陸軍兵技大尉 丸山政雄	小泉中尉	
624	昭和18年8月13日	出張時の便益に対する礼状	陸軍兵技大尉 丸山政雄	中村少佐	
625	昭和18年8月13日	出張時の便益に対する礼状	陸軍兵技大尉 丸山政雄	■■■技手、■■■技手	
626	昭和18年8月13日	出張時の便益に対する礼状	陸軍兵技大尉 丸山政雄		
627	昭和18年8月13日	出張時の便益に対する礼状	陸軍兵技大尉 丸山政雄	■■■■	
628	昭和18年8月1日	「前渡金支払証」ホホ号資材購入のための満州出張残額		登戸研究所資金前渡官吏陸軍主計大尉 州河仲一所属分任官 陸軍兵技大尉 丸山政雄	
629	昭和18年〔月日空欄〕	「見積書」牛肉	川崎食肉小売商組合 ■■■■■		
630、631	〔年不明〕8月12日	科員の有機合成化学講習会出席命令依頼	第二科長 山田大佐	総務科長 草場大佐	
632	昭和18年8月13日	出張時の便益に対する礼状	陸軍兵技大尉 丸山政雄		
633	〔年不明〕8月14日	「科命令」週番判任官任命		陸軍技手 ■■■■	
634		「補給、修理、返納に関する業務担任区分表」			
635	〔年月日空欄〕	「受領証」虫	茨城県立農事試験場 技師 ■■■■	登戸研究所	
636		「小田急線上り東生田発時刻表」			
637	〔年月日空欄〕	「受領書」牛肉	川崎食肉小売商組合 ■■■■■	登戸研究所	
638	〔年月日空欄〕	「受領書」牛乳	■■■■	登戸研究所	
639	〔年不明〕8月18日	「会報」過早退庁準備への注意	第二科長		
640	昭和18年8月18日	「部外委託研究費送付の件」	陸軍兵技大尉	陸軍主計准尉 ■■■■	ホニ乙號研究者 北海道大学教授
641	〔年不明〕8月21日	「科口達事項」昼食休憩時間以外の散髪禁止			
642	〔年不明〕8月21日	「科命令」休憩時間外の散髪禁止			
643	〔年不明〕8月21日	「科命令」火元取締責任者任命			
644、645	昭和18年8月末現在	「第二科通学者状況調」			
646	昭和18年8月24日	精密機械、計器、器具類、整備調査に関する件	第二科	各班長	

頁	年月日	内容など	発行者/作成者	宛先	備考
647		「見積書」牛肉	川崎食肉小売商組合 ■■■■■	登戸研究所	
648	昭和18年8月27日	科員の化学機械講習会出席依頼	第二科長 山田大佐	総務科長 草場大佐	
649	昭和18年8月28日	「科命令」週番判任官任命		陸軍技手 ■■■■	
650~ 655	昭和18年8月30日	「陸軍礼式令(抜粋)」、「附記 軍隊内務書(抜粋)」	第二科		
656~ 659	昭和18年8月30日	「科達」実験室内の紀律の確立に関して	第二科長		
660~ 663	昭和18年8月19日	「科内務巡視所見」、「別紙 細部注意事項一覧表」	第二科長 山田大佐	各班	
664	昭和18年9月1日	写真機修理工派遣依頼	登戸研究所 丸山大尉	エルモ社 ■■■■、 ■■■■■	
665	[年不明] 8月31日	「科命令」各班兵器物品保管係任命			
666~ 668	昭和18年9月3日	「救急治療に対する要望の件」	第二科長 山田大佐	所医務室 高橋大尉	有毒物名の記載
669、 670		「通勤所要時間(雇員以上)調査書」			
671、 672	昭和18年8月末現在	「第二科火元取締責任者及同助手現況調査書」			
673、 674	昭和18年9月6日	「氷受領内諾書」	陸軍兵技中尉 瀧脇重信		
675~ 679	昭和18年8月〔日付なし〕	マンダラ葉の調査、藤〔イヌナズナ〕(利尿薬)の検鏡	登戸研究所 ■■ ■■■		
681、 682		「第二科防空班編成表」			
683	昭和18年4月2日	「前渡資金受領書」ホへ号による資材購入の為の出張経費		登戸研究所資金前渡官吏陸軍主計中尉 川井作久治所属 分任官 陸軍技師 ■■■■	
684	昭和18年4月26日	会社見学に対する礼状	登戸研究所陸軍大佐 畑尾正央	大日本映画製作株式会社 東京撮影所 庶務課長 ■■■■	
685		「請求書」書式		登戸研究所	
686	昭和18年4月28日	小麦條班病害被害株採集の件	登戸研究所 ■■ 技師	■■■技師	
687	昭和18年4月〔日空欄〕	「前渡資金支払証」ホへ号資材購入出張残額		登戸研究所資金前渡官吏陸軍主計中尉 川井作久治所属 分任官陸軍技師 池田義夫	
688、 689		「防護隊要員氏名報告 第二科」			
690	[年不明] 5月1日	「科命令」週番判任官任命		技手(または雇員) ■■■■	
691		「四月中における無施設、開放状況調査書」	第二科		
692	[年不明] 5月6日	「科命令」班長任免、週番判任官任命		陸軍兵技大尉 伴繁雄、陸軍技師 ■■■■、雇員 ■■■■	
693	昭和18年5月7日	勤務員の徴兵検査予習教育受講証明書	陸軍登戸研究所	警視總監 薄田美朝	
694	昭和18年5月6日	「氷受領内諾書」	陸軍兵技大尉 村上忠雄		
695	昭和18年5月10日	「油類消費実績調査書提出の件」	第二科	各班長	
696	[年不明] 5月12日	「科命令」第三班編入		試工員 ■■■■	

頁	年月日	内容など	発行者/作成者	宛先	備考
697	[年不明] 5月14日	「科命令」週番判任官任命		陸軍技手 ■■■■ ■	
698、 699		「軍用貨物証明書」書式			
700		「後納荷物賃金調書」書式			
701	昭和18年3月22日	「受領証書」ホロ号野外試験出張経費		登戸研究所資金前 渡官吏陸軍主計中 尉 川井作久治所 属 複分任官 陸 軍兵技中尉 高倉 金次	
702		「特殊材料受払簿」書式			
703	昭和18年3月23日	「氷受領内訳書」	陸軍准尉 ■■■■ ■		
704		「年齢早見表 昭和十八年三月調査」			
705		「秘密書類入箱」仕様			手書き
706、 707	昭和16年10月25日	「氷受領内訳書」	技手 ■■■■		
708、 709	昭和16年11月29日	「氷受領内訳書」	技手 ■■■■		
710、 711	昭和16年8月30日	「氷受領内訳書」	技手 ■■■■		
712、 713	昭和16年9月24日	「氷受領内訳書」	技手 ■■■■		
714、 715	昭和16年8月29日	「氷受領内訳書」	雇員 ■■■■		
716	昭和17年2月3日	「氷受領内訳書」	陸軍技手 ■■■■ ■		
717、 718		「陸軍共済組合の目的と組織」			
719～ 726	昭和17年9月7日	『キニーネ』の合成について講話	陸軍登戸研究所 ■■■■		
727		「受領証」書式			手書き
728		「受領証」書式		陸軍技術本部登戸 出張所	
729		「借用証」書式			
730、 731		「人夫傭役表」書式			
732、 733		「試験所要経費概算調書」書式	登戸研究所	登戸研究所経理室	手書き
734、 735		「受領証」書式		陸軍技術本部	
736、 737		「現金出納簿」書式			手書き
738	昭和17年9月19日	「第十九回雑誌会」			演題 (1) 人工放射能物質の生物学的利用、(2) Über die reine Metalle, die durch Carbonylverfahren gewonnen werden. (Umschew) [カルボニルプロセスによって得られる純金属について]
739	昭和17年7月11日	「第十七回雑誌会」			演題: 電気磁気理論の発達
740		[物資調達用か] 表記載注意事項			

頁	年月日	内容など	発行者/作成者	宛先	備考
741	昭和17年10月3日	「第二十一回雑誌会」			演題 (1) . 熱工学関係独語文献、(2) . スルフオンアミド製剤に就いて
742	昭和17年9月23日	「第十九回雑誌会」			演題 (1) Uber die reine Metalle、die durch Carbonylverfahren gewonnen werden. (Umschew) [カルボニルプロセスによって得られる純金属について]、(2) 植物の生育と電気
743	昭和17年6月16日	「臨時雑誌会」			手書き/演題: アセチレンと水との重水素交換反応に就て
744	昭和17年5月30日	「第十三回雑誌会」			演題 (1) . 煙草の科学、(2) 糧電波の発信と受信
745	昭和17年6月27日	「第十六回雑誌会」			演題 (1) . 軍用犬の特性、(2) . 飛行機の無線操縦を実用に供する一案に就て
746	昭和17年9月12日	「第十八回雑誌会」			不鮮明/演題 (1) 警察科学文献に就て、(2) アンテノック剤とその資源に就て
747、 748		「月勤務一覧表」書式			
749	昭和18年10月2日	「氷受領内訳書」	陸軍兵技中尉 瀧脇重信		
750~ 752		二科 応召者名簿			
753	[年不明] 10月9日	「科命令」第五班編入		技術部乙種幹部候補生 ■■■■、 同 ■■■■	
754	昭和18年10月19日	[研究委嘱者か] 学歴ほか情報提供依頼	登戸研究所 陸軍兵技中尉 瀧脇重信	京都帝国大学 教授 ■■■■	
755	[年不明] 10月8日	「科命令」第七班編入		雇員 ■■■■	
756	昭和18年10月5日	「発明考案調書」第二科丸山政雄、細川陽一郎	第二科長 山田櫻		未完成
757	昭和18年10月19日	[研究委嘱者か] 学歴ほか情報提供依頼	登戸研究所 陸軍兵技中尉 瀧脇重信	北海道帝大理学部教授 ■■■■	
758	[年不明] 10月20日	病状の報告に関する返信	第二科長 山田櫻		
759	[年不明] 10月21日	「科達」清潔整頓の注意	第二科長		
760	昭和18年10月19日	[研究委嘱者か] 学歴ほか情報提供依頼	登戸研究所 陸軍兵技中尉 瀧脇重信	東京工業大学 教授 ■■■■	
761	昭和18年10月19日	[研究委嘱者か] 現住所提供依頼	登戸研究所 陸軍兵技中尉 瀧脇重信	京都帝国大学 助教授 ■■■■	
762	[年不明] 10月26日	「科命令」第四班編入		見習工 ■■■■	
763		「休暇届」書式		所長 篠田鏝	
764	昭和18年11月4日	「氷受領内訳書」	陸軍兵技中尉 瀧脇重信		
765	昭和18年10月30日	獣医資材取得斡旋の件	登戸研究所長	兵務局長	

頁	年月日	内容など	発行者/作成者	宛先	備考
766	[年不明] 11月1日	「科命令」各班編入		第二班 試工員 ■■■■、第一班 // ■■■■	
767	昭和18年11月30日	「勤務証明書」	陸軍獣医学校		
768	昭和18年12月10日	「勤務証明書」	陸軍獣医学校		
769~ 772		所員情報簿書式			
773		「防護隊勤務割表」書式			
774		防護隊勤務者変更届書式			
775	昭和18年12月1日	「氷受領内訳書」書式	陸軍兵技中尉 瀧 脇重信		
776	昭和18年11月5日	「携行証明書」写真機(ライカ、エルモフレックス)	登戸研究所		
777	昭和18年11月20日	「ヘショー」の型録(写真)贈与依頼	陸軍登戸研究所 山田大佐	芝浦マツダ株式会社 硅酸塩研究所 所長 ■■■■	
778	昭和18年11月20日	「チョコレート」試用分譲依頼	陸軍登戸研究所 山田大佐		
779	[年不明] 12月9日	防疫研究の為、久葉少佐、川崎技師の長期間派遣に対する礼状	登戸研究所長	家畜衛生研究所長	
780	昭和18年12月23日	研究所員の委員列席願書	陸軍登戸研究所 陸軍兵技大佐 山 田 櫻	日本学術振興会第 十八小委員会 幹 事 ■■■■	電気絶縁体材料研究 の委員会
781	昭和19年2月7日	「氷受領内訳書」	陸軍兵技中尉 瀧 脇重信		
782	昭和19年3月3日	鉄道輸送の便宜依頼	登戸研究所		
783	昭和19年3月13日	「受領証」耐水マッチ	陸軍兵器行政本部 技術部技術課 吉 永中佐	登戸研究所	委託試験用
784	昭和19年3月12日	「受領証」耐水マッチ	陸軍兵器行政本部 技術部技術課 吉 永中佐	登戸研究所	委託試験用、783頁 とは日付が異なる
785	昭和19年3月13日	「受領証」耐水マッチ	陸軍兵器行政本部 技術部技術課 吉 永中佐	登戸研究所	委託試験用、783頁 と784頁には記載の ない説明書について 記載あり
786、 787		「吸殻入備付箇所並取扱責任者一覧表」	第二科		昭和19年3月20日付 科命令別紙
788、 789	昭和19年3月14日	「班業務責任者名簿」	第二科		
790		白紙			
791~ 793	昭和19年1月〔日付なし〕	「昭和十九年科内教育計画」	第二科長		
794		「特殊材料要求受領書」書式			
795、 796	昭和19年3月28日改正	「第二科特殊材料取扱内規」			
797	昭和19年3月30日	小麦委縮病調査協力への礼状	東京帝国大学農学 部植物病理学研究 室		
798、 799		分析用試験需要見込量照会	庶務		
800、 801		「陸軍衛生材料本廠配給統制医薬」第一類			
802~ 805		「陸軍衛生材料本廠配給統制医薬品」第二類			
806	昭和18年9月13日	「受領証」過リン酸石灰、石灰窒素、硫酸	登戸研究所第二科 ■■■■	肥料小売組合 ■ ■■■	
807	昭和18年9月13日	「受領証」魚粕	登戸研究所第二科 ■■■■	多摩川産業組合	

頁	年月日	内容など	発行者/作成者	宛先	備考
808	昭和18年9月1日	「前渡金受領証」ホニ号資料蒐集出張経費	登戸研究所資金前渡官吏陸軍主計准尉 ■■■■所属分任官 陸軍兵技少尉 小堀文雄		
809～817	昭和18年9月5日～昭和18年9月13日	「現金出納簿」ホニ号資料蒐集出張中	分任官 陸軍兵技大尉 村上忠雄		軍用犬・軍犬手借上／出張先：札幌／人夫傭役表ほか含む／816頁「臨時軍事費、研究費の支弁とする」
818～820		「乙試薬」一覧			
821、822		「甲医療薬」一覧			
823	昭和18年9月14日	被労災所員病状伺い	登戸研究所 陸軍兵技大尉 土方博	■■■■	
824	昭和18年9月〔日付空欄〕	「前渡資金返納証」		登戸研究所資金前渡官吏陸軍主計准尉 ■■■■所属分任官 陸軍兵技大尉 村上忠雄	
825		「九月四日会食出席者 第二科」			手書き
826	〔年不明〕9月〔解読不能〕日	「科命令」図書係任免		陸軍兵技大尉 村上忠雄、陸軍兵技中尉 中内正夫	
827		「購入要求表」書式			手書き
828		「物品亡失調書」書式	第二科 物品監守者 陸軍技手 ■■■■		
829	昭和18年9月28日	「現認証明書」ホホ号研究中火傷	現認者 陸軍兵技中尉 有川俊一	登戸研究所第二科 工員 ■■■■	
830～853		「第四科薬品在庫表」(イロハ順)			
854～861		資源名称表			
862～863		「第四科薬品在庫表」(順不同、部分)			
864～887		「第四科薬品在庫表」(順不同)			
888		「工員慰安会出席人名表 第二科」			
889～899		「衛生巡視の着眼点」			文字やや不明瞭
900	昭和17年6月16日	「臨時雑誌会」			演題：アセチレンと水との重水素交換反応に就て
901～905		「板硝子規格区分表」			
906、907	〔年不明〕5月18日	「科命令」班編入、臨時配属		陸軍技手、見習工計10名	
908	〔年不明〕5月21日	「科命令」週番判任官任命		陸軍技手 ■■■■	
909、910	昭和18年5月17日	「庶務将校会報連絡事項」			
911	昭和18年5月21日	「受領証」修理品ロンジン測秒器		登戸研究所	
912	昭和18年5月21日	「受領証」修理品測秒器		登戸研究所	
913	昭和18年5月21日	「受領証」修理品バイト紙綴器		登戸研究所	

頁	年月日	内容など	発行者/作成者	宛先	備考
914	昭和18年5月22日	「出門認可証」	庶務将校 陸軍兵 技中尉 中本敏一 郎		
915、 916		「十八年度第一期燃料油脂 類需要量 第二科」			2部
917		燃料油脂類に関する通牒	第二科物品掛	主任者	
918	昭和18年5月24日	「昭和十八年度薬品類所要 調査」	第二科	各班長	
919、 920	昭和18年5月24日	化学兵器手当支給認可上申 書	第二科長 陸軍大 佐 畑尾正央	所長 篠田 鏝	
921	昭和18年5月30日	「公金携行証明書」	登戸研究所長 篠 田 鏝	陸軍兵技大尉 村 上忠雄	
922	〔年不明〕5月27日	「科命令」日直勤務			